



Denka 平成30年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成29年8月7日

上場会社名 デンカ株式会社 上場取引所 東
 コード番号 4061 URL http://www.denka.co.jp
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)山本 学
 問合せ先責任者 (役職名)IR室長 (氏名)大町 徹夫 (TEL)03-5290-5532
 四半期報告書提出予定日 平成29年8月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第1四半期の連結業績 (平成29年4月1日～平成29年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第1四半期	90,588	10.5	6,430	49.7	7,389	212.5	6,043	170.7
29年3月期第1四半期	81,984	△5.7	4,295	△27.7	2,364	△59.4	2,232	△48.9

(注) 包括利益 30年3月期第1四半期 5,281百万円 (—%) 29年3月期第1四半期 △614百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第1四半期	13.66	—
29年3月期第1四半期	5.05	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
30年3月期第1四半期	456,380	229,834	49.5	510.78
29年3月期	454,944	227,487	49.1	505.28

(参考) 自己資本 30年3月期第1四半期 225,996百万円 29年3月期 223,565百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期	—	7.00	—	7.00	14.00
30年3月期	—	—	—	—	—
30年3月期(予想)	—	7.00	—	37.50	—

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

※当社は、平成29年10月1日を効力発生日として当社普通株式5株につき1株の割合で株式併合を実施する予定であるため、平成30年3月期(予想)の1株当たり期末配当金につきましては、当社株式併合の影響を考慮した金額を記載し、年間配当金合計は「—」として記載しております。株式併合を考慮しない場合の平成30年3月期(予想)の期末配当金は7.50円となり、1株当たり年間配当金は14.50円となります。詳細につきましては、「業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項」をご覧ください。

3. 平成30年3月期の連結業績予想 (平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	190,000	10.6	14,000	42.5	14,000	88.5	10,500	71.7	23.78
通期	400,000	10.3	30,000	16.1	28,000	20.9	21,000	15.7	238.89

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※平成30年3月期の通期の連結業績予想における1株当たり当期純利益については、株式併合の影響を考慮しています。詳細につきましては、「業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

30年3月期1Q	442,779,202株	29年3月期	465,954,121株
30年3月期1Q	329,938株	29年3月期	23,498,612株
30年3月期1Q	442,451,360株	29年3月期1Q	442,480,431株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

(株式併合後の配当及び業績予想について)

当社は平成29年6月22日開催の第158回定時株主総会において、株式併合について承認可決され、平成29年10月1日を効力発生日として、当社普通株式5株につき1株の割合で株式併合を実施する予定です。株式併合を考慮しない場合の平成30年3月期の配当予想及び連結業績予想は以下のとおりとなります。

1. 平成30年3月期の配当予想 1株当たり配当金 第2四半期末 7円00銭(注1) 期末 7円50銭(注2)

2. 平成30年3月期の通期の連結業績予想 1株当たり当期純利益 期末 47円78銭

(注1) 第2四半期末の配当は、株式併合実施前の株式数に対して支払われます。

(注2) 株式併合を考慮しない場合の配当額です。

(注3) 平成30年3月期の年間配当金(株式併合考慮前)は14円50銭となります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	10
3. 補足情報	11
平成30年3月期 第1四半期決算概要	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間のわが国経済は、個人消費や輸出、生産が持ち直すなど、景気は緩やかに回復しました。世界経済は、全体として緩やかな回復基調が続きました。

このような経済環境のもと、当社グループは、国内外での拡販やコストの削減に努め、業容の拡大と収益の確保に注力いたしました。この結果、当第1四半期連結累計期間の業績は、クロロプレンゴムや電子・先端プロダクツ製品を中心に販売数量が増加したほか、原材料価格の上昇に応じた販売価格の改定により、売上高は905億88百万円と前年同期に比べ86億3百万円(10.5%)の増収となりました。収益面では、販売数量の増加が収益拡大に寄与し、営業利益は64億30百万円(前年同期比21億35百万円増、49.7%増益)となりました。また、経常利益は73億89百万円(前年同期比50億24百万円増、212.5%増益)、親会社株主に帰属する四半期純利益は60億43百万円(前年同期比38億10百万円増、170.7%増益)と第1四半期連結累計期間として過去最高益となりました。

報告セグメント別の状況は次のとおりです。なお、当第1四半期連結会計期間に報告セグメントの区分を変更しており、詳細は「3. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(セグメント情報等)」に記載のとおりです。

<エラストマー・機能樹脂部門>

当部門の売上高は425億99百万円と前年同期に比べ72億20百万円(20.4%)の増収となりました。

クロロプレンゴムは販売数量増や採算是正を目的とした価格改定により増収となりました。スチレンモノマーやABS樹脂、デンカシンガポール社のポリスチレン樹脂等の販売も堅調に推移しました。

<インフラ・ソーシャルソリューション部門>

当部門の売上高は123億53百万円と前年同期に比べ11億93百万円(10.7%)の増収となりました。

農業土木用コルゲート管やセメントは販売数量が増加し増収となり、特殊混和材や肥料、耐火物・鉄鋼用材料の販売も堅調に推移しました。

<電子・先端プロダクツ部門>

当部門の売上高は127億97百万円と前年同期に比べ19億62百万円(18.1%)の増収となりました。

LED用サイアロン蛍光体“アロンブライト”や電子部品・半導体搬送用部材の機能フィルムは旺盛な需要により出荷増となり、半導体封止材向け球状溶融シリカフィラーや球状アルミナの販売も増加しました。また、電子回路基板の販売も前年を上回りました。

<生活・環境プロダクツ部門>

当部門の売上高は102億60百万円と前年同期に比べ62百万円(0.6%)の減収となりました。

プラスチック雨どいや工業用テープは販売数量が増加し増収となり、食品包材用シートやデンカポリマー株式会社の加工品も堅調に推移しましたが、合繊かつら用原糸“トヨカロン”の販売は前年を下回りました。

<ライフソリューション部門>

当部門の売上高は46億26百万円と前年同期に比べ1億9百万円(2.3%)の減収となりました。

デンカ生研株式会社の試薬の販売は国内、輸出とも前年を上回りました。

<その他部門>

当部門の売上高は79億50百万円と前年同期に比べ16億円(16.8%)の減収となりました。

株式会社アクロス商事等の商社は取扱量が前年を下回りました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ14億36百万円増加の4,563億80百万円となりました。流動資産は、棚卸資産の増加などにより前連結会計年度末に比べ27億73百万円増加の1,716億76百万円となりました。固定資産は、有形固定資産の減価償却などにより前連結会計年度末に比べ13億37百万円減少の2,847億4百万円となりました。

負債は、未払法人税等の減少などにより前連結会計年度末に比べ9億10百万円減少の2,265億45百万円となりました。

非支配株主持分を含めた純資産は前連結会計年度末に比べ23億46百万円増加して2,298億34百万円となりました。

以上の結果、自己資本比率は前連結会計年度末の49.1%から49.5%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

クロロプレンゴムや電子先端製品などの出荷が第1四半期に好調であったこと、また、第2四半期もこうした状況が継続する見込みであることから、前回公表の業績予想を上回る見通しです。

なお、通期の連結業績予想につきましては、前回公表予想を据え置いておりますが、業績予想の修正が必要となった場合は、速やかに公表いたします。

平成30年3月期第2四半期（累計）連結業績予想（自 平成29年4月1日 至 平成29年9月30日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	190,000	12,500	12,500	9,500	21.51
今回修正予想 (B)	190,000	14,000	14,000	10,500	23.78
増減額 (B-A)	—	1,500	1,500	1,000	—
増減率 (%)	—	12.0%	12.0%	10.5%	—
(ご参考) 前第2四半期実績 (平成29年3月期第2四半期)	171,806	9,825	7,426	6,114	13.82

2. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	10,258	11,979
受取手形及び売掛金	85,069	82,696
商品及び製品	42,532	44,388
仕掛品	3,745	5,201
原材料及び貯蔵品	16,907	17,453
繰延税金資産	2,039	2,584
その他	8,809	7,838
貸倒引当金	△460	△464
流動資産合計	168,902	171,676
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	61,982	61,562
機械装置及び運搬具（純額）	74,338	71,464
工具、器具及び備品（純額）	2,895	3,135
土地	63,247	63,325
リース資産（純額）	312	287
建設仮勘定	10,679	11,538
有形固定資産合計	213,456	211,314
無形固定資産		
のれん	5,694	5,462
特許権	487	452
ソフトウェア	1,170	1,083
その他	2,989	3,071
無形固定資産合計	10,342	10,069
投資その他の資産		
投資有価証券	54,604	55,605
長期貸付金	664	663
繰延税金資産	1,608	1,845
その他	6,189	6,012
貸倒引当金	△823	△808
投資その他の資産合計	62,242	63,320
固定資産合計	286,041	284,704
資産合計	454,944	456,380

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	46,811	45,591
短期借入金	43,492	44,647
コマーシャル・ペーパー	—	10,000
1年内返済予定の長期借入金	72	75
1年内償還予定の社債	10,000	15,000
未払法人税等	3,659	2,158
未払消費税等	814	867
繰延税金負債	0	0
賞与引当金	2,880	5,025
その他	36,459	34,515
流動負債合計	144,190	157,883
固定負債		
社債	20,000	5,000
長期借入金	40,184	40,150
繰延税金負債	5,895	6,107
再評価に係る繰延税金負債	8,405	8,405
退職給付に係る負債	7,774	8,067
その他	1,006	931
固定負債合計	83,266	68,662
負債合計	227,456	226,545
純資産の部		
株主資本		
資本金	36,998	36,998
資本剰余金	49,284	49,284
利益剰余金	123,752	116,673
自己株式	△10,170	△141
株主資本合計	199,865	202,815
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	14,837	15,534
土地再評価差額金	10,265	10,265
為替換算調整勘定	1,496	160
退職給付に係る調整累計額	△2,898	△2,779
その他の包括利益累計額合計	23,700	23,180
非支配株主持分	3,922	3,838
純資産合計	227,487	229,834
負債純資産合計	454,944	456,380

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)
売上高	81,984	90,588
売上原価	62,208	68,347
売上総利益	19,775	22,240
販売費及び一般管理費	15,480	15,810
営業利益	4,295	6,430
営業外収益		
受取利息	12	13
受取配当金	498	924
持分法による投資利益	152	651
為替差益	—	203
その他	79	64
営業外収益合計	743	1,857
営業外費用		
支払利息	180	180
操業休止等経費	696	263
為替差損	1,479	—
その他	317	453
営業外費用合計	2,673	897
経常利益	2,364	7,389
税金等調整前四半期純利益	2,364	7,389
法人税、住民税及び事業税	106	1,560
四半期純利益	2,258	5,829
非支配株主に帰属する四半期純利益	26	△213
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,232	6,043

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)
四半期純利益	2,258	5,829
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△606	716
為替換算調整勘定	△2,326	△1,390
退職給付に係る調整額	133	118
持分法適用会社に対する持分相当額	△73	7
その他の包括利益合計	△2,873	△547
四半期包括利益	△614	5,281
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△486	5,522
非支配株主に係る四半期包括利益	△128	△241

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、経営環境の変化に対応した機動的な資本政策の遂行および株主価値の向上を図るため、平成29年5月10日開催の取締役会決議に基づき、当第1四半期連結累計期間において自己株式の消却を行っております。

(自己株式の消却)

平成29年5月15日に自己株式の消却を行い、当第1四半期連結累計期間において自己株式が100億33百万円、資本剰余金が0百万円、利益剰余金が100億33百万円それぞれ減少しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 平成28年4月1日 至 平成28年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント						その他 事業 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	エラス トマー ー・機 能樹脂	インフ ラ・ソ ーシャ ルソリ ューシ ョン	電子・ 先端ブ ロダク ツ	生活・ 環境ブ ロダク ツ	ライフ イノー ベーシ ョン	計				
売上高										
外部顧客への 売上高	35,378	11,160	10,835	10,323	4,736	72,433	9,550	81,984	—	81,984 (注) 4
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	34	1	—	2	0	38	1,128	1,166	(1,166)	—
計	35,413	11,161	10,835	10,325	4,736	72,471	10,679	83,151	(1,166)	81,984
セグメント利益又は 損失(△)	2,217	△201	1,470	497	246	4,231	30	4,262	33	4,295

(注) 1. 「その他事業」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、プラントエンジニアリング事業、商社事業等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額33百万円は、セグメント間取引消去によるものです。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

4. このうち、海外売上高は35,044百万円(42.7%)であります。

なお、海外売上高は、当社及び連結子会社の本邦以外の国又は地域における売上高であります。

2. 地域ごとの売上高に関する情報

(単位：百万円)

	日本	海外			合計
		アジア	その他	計	
売上高	46,939	22,820	12,224	35,044	81,984
連結売上高に占める割合(%)	57.3	27.8	14.9	42.7	100.0

(注) 売上高は顧客の所在地を基盤とし、国又は地域に分類しております。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成29年4月1日至平成29年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント						その他 事業 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	エラス トマ ー・機 能樹脂	インフ ラ・ソ ーシャ ルソリ ューシ ョン	電子・ 先端プ ロダク ツ	生活・ 環境プ ロダク ツ	ライフ イノー ベーシ ョン	計				
売上高										
外部顧客への 売上高	42,599	12,353	12,797	10,260	4,626	82,637	7,950	90,588	—	90,588 (注)4
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	28	0	—	—	—	28	1,257	1,285	(1,285)	—
計	42,627	12,353	12,797	10,260	4,626	82,666	9,207	91,873	(1,285)	90,588
セグメント利益 又は損失(△)	3,092	310	2,483	401	△22	6,266	148	6,415	15	6,430

- (注) 1. 「その他事業」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、プラントエンジニアリング事業、商社事業等を含んでおります。
2. セグメント利益又は損失(△)の調整額15百万円は、セグメント間取引消去によるものです。
3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。
4. このうち、海外売上高は40,056百万円(44.2%)であります。
なお、海外売上高は、当社及び連結子会社の本邦以外の国又は地域における売上高であります。

2. 地域ごとの売上高に関する情報

(単位：百万円)

	日本	海外			合計
		アジア	その他	計	
売上高	50,531	26,084	13,972	40,056	90,588
連結売上高に占める割合(%)	55.8	28.8	15.4	44.2	100.0

(注) 売上高は顧客の所在地を基盤とし、国又は地域に分類しております。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

当第1四半期連結会計期間より、従来の4区分に「ライフイノベーション」を加えた5区分の報告セグメントに変更しております。

平成29年4月1日付でデンカグループのすべての健康関連事業を統括する「ライフイノベーション部門」を新設したことに伴い、「ライフイノベーション」セグメントを新たに設け、従来「生活・環境プロダクツ」に区分していた健康関連事業を「ライフイノベーション」セグメントに移管しています。

なお、前第1四半期連結累計期間のセグメント情報については変更後の区分方法により作成したものを記載しております。

2017年度 第1四半期決算概要

2017年8月7日
デンカ株式会社

1. 業績の概要

【総括(第1四半期前年同期比)】

- ・当期第1四半期は、原材料価格上昇により石化製品のspreddは悪化しましたが、クロロプレンゴムや電子先端製品などの出荷数量が増加し、営業利益は前年に比べて21億円増益の64億円(前年比49.7%増)となりました。また、経常利益は74億円(前年比212.5%増)、親会社株主に帰属する当期純利益は60億円(前年比170.7%増)と、いずれも前年を上回り四半期として過去最高益となりました。
- ・第2四半期も、クロロプレンゴム、電子・先端プロダクツ製品の出荷好調が継続する見とおしであることから、上期予想を営業利益140億円、経常利益140億円、当期純利益105億円に修正します。なお通期は、期初予想からの変更はありません。

【セグメント別状況(第1四半期前年同期比・第2四半期見通し)】

- ・エラストマー・機能樹脂部門は、クロロプレンゴムの出荷増と値上げによる採算改善により、シンガポールスチレン系製品の原料価格上昇によるspredd縮小をカバーし増益となりました。第2四半期もこの状況が続く見とおしです。
- ・インフラ・ソーシャルソリューション部門は、セメントの輸出数量が増加したことから、増益となりました。第2四半期累計も、増益を見込みます。
- ・電子・先端プロダクツ部門は、半導体封止材向け溶融シリカや球状アルミナ、LED用蛍光体、電子部品・半導体搬送材料用部材の機能フィルム、電子回路基板、パワーモジュール用高信頼性放熱プレート的好調な出荷により、前年に比べ増益となりました。第2四半期累計でも、各製品の好調な出荷の継続により増益を見込みます。
- ・生活・環境プロダクツ部門は、合繊かつら用原糸の販売は前年を下回りましたが、その他製品でカバーし、営業利益は前年並みとなりました。第2四半期累計も、前年並みの利益を見込みます。
- ・ライフイノベーション部門は、前年並みの販売となりましたが、デンカ生研の固定費負担の増加により減益となりました。第2四半期累計では、研究費の増加などから、前年に比べ減益となる見込みです。

【業績】

(単位:億円)

	2017年度 第1四半期実績 (4-6月)	2016年度 第1四半期実績 (4-6月)	増 減
売上高	906	820	86
営業利益	64	43	21
経常利益	74	24	50
親会社株主に帰属する当期純利益	60	22	38

	2017年度 第2四半期予想 (4-9月)	2017年度 通期予想 (4-3月)
売上高	1,900	4,000
営業利益	140	300
経常利益	140	280
親会社株主に帰属する当期純利益	105	210

2. セグメント別 連結売上高・営業利益

(単位:億円)

		2017年度 第1四半期実績	2016年度 第1四半期実績	増 減
エラストマー・ 機能樹脂	売上高	426	354	72
	営業利益	31	22	9
インフラ・ソーシャル ソリューション	売上高	124	112	12
	営業利益	3	△ 2	5
電子・先端 プロダクツ	売上高	128	108	20
	営業利益	25	15	10
生活・環境 プロダクツ	売上高	103	103	△ 1
	営業利益	4	5	△ 1
ライフ イノベーション	売上高	46	47	△ 1
	営業利益	△ 0	2	△ 3
その他 消去差	売上高	80	96	△ 16
	営業利益	2	1	1
合 計	売上高	906	820	86
	営業利益	64	43	21

		2017年度 第2四半期予想	2017年度 通期予想
エラストマー・ 機能樹脂	売上高	860	1,720
	営業利益	70	105
インフラ・ソーシャル ソリューション	売上高	260	540
	営業利益	10	10
電子・先端 プロダクツ	売上高	260	530
	営業利益	45	90
生活・環境 プロダクツ	売上高	220	450
	営業利益	10	20
ライフ イノベーション	売上高	130	360
	営業利益	5	70
その他 消去差	売上高	170	400
	営業利益	0	5
合 計	売上高	1,900	4,000
	営業利益	140	300

3. 参考数値・前提

(単位:億円)

		2017年度 第1四半期実績	2016年度 第1四半期実績	増 減	2017年度 第2四半期予想	2017年度 通期予想
投 資	設備投資	47	39	8	170	300
	M & A 他	0	3	△ 3	40	40
	計	47	42	5	210	340
減価償却費		61	60	0	120	250
研究開発費		34	33	1	75	150
有利子負債残高		1,149	1,232	△ 84	1,220	1,120

	2017年度 第1四半期実績	2016年度 第1四半期実績
為替レート [円/\$]	111.8	111.1
国産ナフサ [円/kl]	39,700	33,000

4. セグメント別 連結売上高増減内訳

(単位:億円)

	売 上 高				
	2017年度 第1四半期実績	2016年度 第1四半期実績	増 減	販売価格差	数量差
エラストマー・機能樹脂	426	354	72	46	26
インフラ・ソーシャルソリューション	124	112	12	△ 3	15
電子・先端プロダクツ	128	108	20	△ 2	21
生活・環境プロダクツ	103	103	△ 1	△ 0	△ 0
ライフイノベーション	46	47	△ 1	△ 1	0
そ の 他	80	96	△ 16	-	△ 16
合 計	906	820	86	40	46

5. セグメント別 連結営業利益増減内訳

(単位:億円)

	営 業 利 益					
	2017年度 第1四半期実績	2016年度 第1四半期実績	増 減	販売価格差	数量差	コスト差等
エラストマー・機能樹脂	31	22	9	46	15	△ 53
インフラ・ソーシャルソリューション	3	△ 2	5	△ 3	5	4
電子・先端プロダクツ	25	15	10	△ 2	13	△ 1
生活・環境プロダクツ	4	5	△ 1	△ 0	△ 2	1
ライフイノベーション	△ 0	2	△ 3	△ 1	1	△ 2
その他、消去差	2	1	1	-	0	1
合 計	64	43	21	40	32	△ 51